

■概要：

製品分野毎に異なるセキュリティ要件やレベル持つIoT機器が、つながる機器＝システムとして捉え検討する必要がある。そこで、分野横断的な視点で「つながる機器として最低限の共通要件(Minimum requirements)を定義し、一定のセキュリティ（安全性）を確保するために必要（十分）な脆弱性検証方法を策定する。なお、「IoT脆弱性共通要件」が提示されており、検討メンバーを中心に幅広くメーカーへの浸透を図ることを目標とする。

■活動内容：

- 1) 分野をまたがる最低限の要件（共通要件）を定義、更新を行う
- 2) 共通要件をチェックする手法を定義、更新を行う
- 3) 分野別のレベル2以降のサーティフィケーションスキームを定義する

■本年度ゴール：

- 1)、2)については、2023年度の要件、チェック手法の検討を行う。
分野別のレベル2以降のサーティフィケーションスキームについて検討を行う。

■参加者：

- ・主査：田久保（CCDS/マストトップ）、副査：検討中
- ・メンバー：積水ハウス、日立オムロンターミナルソリューションズ、オムロンソーシアルソリューション
※自社でマーク採用予定を持つ企業：機器メーカー、サービスメーカー及びマストトップ（指定検証事業者）
- ・メンバー募集の有無：募集なし